

環境保全行動
自動車使用管理 計画提出書

2022 年 7 月 29 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所	〒 105-7529 東京都港区海岸一丁目7番1号
氏名	ソフトバンク株式会社
(代表者名)	代表取締役 社長執行役員 兼 CEO 宮川 潤一
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	

札幌市生活環境の確保に関する条例に基づき、環境保全行動計画を策定しましたので、次のとおり提出します。

事業の概要		37 通信業												
事業の規模	従業員数	346	人	原油換算した	7654.0	k1								
	使用床面積	27600.96	m ²	燃料・熱・電気の合計量										
	事業所数	10	事業所	自動車使用台数		台								
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	17900	t-CO ₂	メタン t-CO ₂	N ₂ O t-CO ₂	HFC t-CO ₂								
	非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	PFC t-CO ₂	SF ₆ t-CO ₂	NF ₃ t-CO ₂									
提出根拠		条例第 1 3 条 (環境保全行動計画)			<input checked="" type="checkbox"/> 第 1 項 <input type="checkbox"/> 第 3 項									
		条例第 2 3 条 (自動車使用管理計画)			<input checked="" type="checkbox"/> 第 1 項 <input type="checkbox"/> 第 2 項									
計画期間		2022	年	4	月	1	日	~	2025	年	3	月	31	日
環境保全行動 自動車使用管理 計画書		別添のとおり												
備考	環境マネジメントシステムの 認証登録の有無及びその種類	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (認証名 ISO14001) <input type="checkbox"/> 無												
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全に関する社員啓発活動の実施(Eラーニング、ペーパーレス等) ・「COOL CHOICEキャンペーン」の社員への案内および、クールビズ、ウォームビズの推奨実施とその継続 ・OA用パソコンのシンクライアント化 ・エネルギー効率の高い設備への更新と新設の推進 												

環境保全行動計画書
自動車使用管理計画書

1 基本的な方針

私たちは、地球環境の保全が世界共通の重要課題であると同時に、企業市民としてのソフトバンクと、それを構成する私たち社員一人ひとりの責務でもありと考えています。こうした認識のもと、2007年8月に「環境行動指針」を定め、環境保全への体系的な取り組みを推進しています。ソフトバンク株式会社(以下「弊社」という)は、電気通信事業を通して地球環境の維持・保全に積極的に取り組み、持続可能な社会の継続的発展に貢献します。弊社は、事業活動の推進において、環境保全に関する諸法規およびその他の要求事項を遵守します。弊社は、環境マネジメントシステムにより、事業活動における環境負荷を低減して行くため、省エネルギー、省資源、廃棄物削減等について環境目標を設定し、継続的な改善に努めます。弊社は、事業用機器や物品の調達に当たり、環境にやさしいグリーン調達を推進します。弊社は、環境負荷低減に資するネットワーキング技術の開発やネットワーキングサービスの提供に努め、社会全体の省エネルギー化に貢献します。弊社は、社員への環境教育に努めるとともに、弊社の環境に関する情報を社内外へ公表し、コミュニケーションを図ります。

2 行動目標

【計画期間】

2022年 4月 1日～ 2025年 3月 31日

行動目標	基準数値		目標削減率	目標数値		基準数値の設定根拠	削減項目
	数値	単位		数値	単位		
エネルギー管理指定工場に指定されている事業所における原単位1%/5年間の改善	521.2	t-CO2/Gbps	1 %	516	O2/G		
エネルギー管理指定工場に指定されている事業所における原単位1%/5年間の改善	67.7	t-CO2/Gbps	1 %	67	O2/G		
エネルギー管理指定工場に指定されている事業所における原単位1%/5年間の改善	440.9	t-CO2/Gbps	1 %	436	O2/G		
エネルギー管理指定工場に指定されている事業所における原単位1%/5年間の改善	0.19	t-CO2/m2	1 %	0.188	CO2/t		
			%				
			%				